

概況

令和5年7月末現在の交通基盤部発注工事等事故は、18件（前年同期12件）発生しています。7月に発生した事故6件のうち、2件が架空線損傷事故です。国土交通省中部地方整備局の「架空線等上空施設の事故防止マニュアル（案）」を参考に、事前に確実な安全対策をお願いします。

安全対策の好事例

架空線事故の多くは**基本的なルールを守れば防げる事故**です。

◇ **調査と報告**（「土木工事共通仕様書1-1-26 工事中の安全確保」）

受注者は、工事に係わる全ての架空線等上空施設の**現地調査**（場所、種類、高さ等）を行い、その**調査結果**について、支障物件の**有無に関わらず、監督員へ報告**しなければならない。

◇ **接触防止対策**（静岡県が実施する「令和5年度建設工事等事故防止重点対策」）

送電線等の施設へは、**視界性の良いカバー・目印・注意喚起表示**を設置するとともに、複数作業員での**危険度チェック**や**誘導員・監視員を配置**すること。

のぼりと看板で注意喚起
オペ・作業員の共通認識



アーム内側に注意喚起
オペレーターへの注意喚起



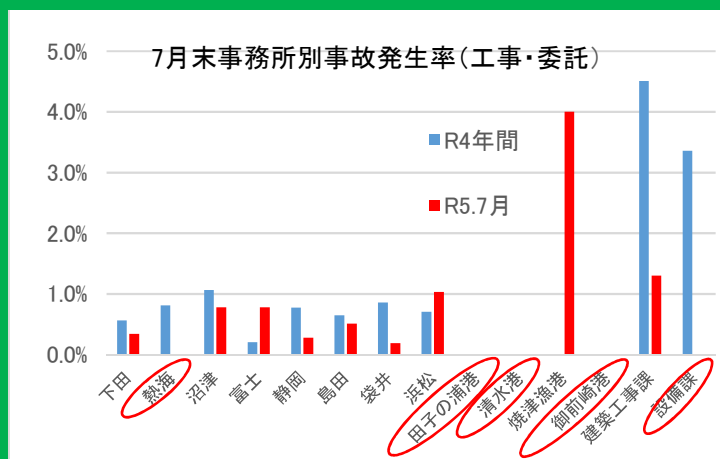
上空支障物前後に高さ制限ゲート設置
オペレーター・運転手への注意喚起
支障物高さの誤認を防止



国土交通省関東地方整備局 HP より引用

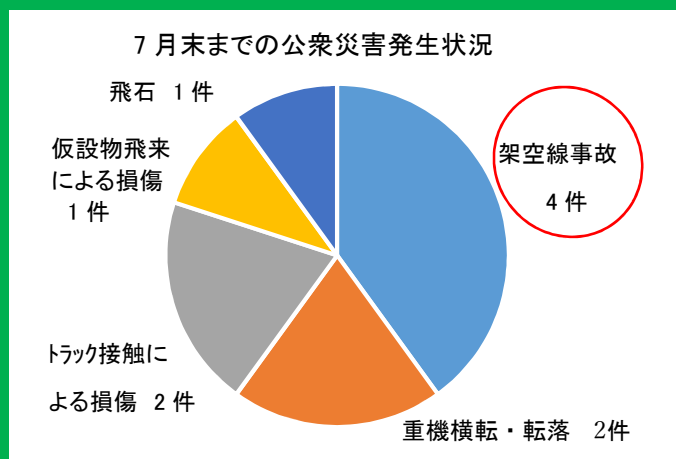
事故関連データ

▼ 4事務所1課では工事事務発生ゼロ！



※事故発生率(%) = 事故件数(件) / 工事・委託実施件数(件)

▼ 公衆災害の中で架空線事故が一番多く発生



A- Press について

『A』は、ずばり安全（Anzen）のA

『A』は、アルファベットの最初の文字

工事等に当たり、安全は最も優先されます。

安全意識の向上と情報共有のために、工事等の受発注者に毎月発信していきます。

【令和5年7月の工事等事故】

- 1 バックホウを資材置き場に移動する際、バックホウのアームで架空線を損傷させた物損事故
- 2 バックホウに給油後作業再開する際、ブームを上げたまま移動し、架空線を損傷させた物損事故
- 3 作業員の熱中症傷害事故
- 4 バックホウでの河床整正作業の際、バックホウが河道に転落し、オイルが流出した物損事故
- 5 バックホウのアタッチメント交換時、指をはさみ指を骨折した傷害事故
- 6 削孔終了後の抜管作業時、回転する部材と掘削機械に足を挟まれ骨折した傷害事故